

平成28年度 小城市協働によるまちづくり事業経過報告

	事業名	事業内容	新規・継続
市役所	市職員に対する協働研修会	【計画】・・・2回開催 職員を対象に講師を招き、協働によるまちづくりに関する研修会を実施。 【事業経過】・・・10月31日(月)開催予定 生涯学習課(公民館)職員を対象に講師を招き、協働によるまちづくりに関する研修会を開催予定。	継続
	地域との協働体制庁内検討委員会	【計画】・・・3回開催 庁内において、協働によるまちづくりの推進・地域コミュニティ施策の方向性に関することを検討する。(作業部会「協働によるまちづくり検討委員会」へオブザーバーとして出席) 【事業経過】・・・10月21日(金)開催 以後、未定	継続
市民・団体	協働によるまちづくり検討委員会	【計画】・・・3回開催 協働によるまちづくりを進めるための仕組みづくりに向けて、地域を基盤とするまちづくりやコミュニティ活動の方向性及びそれに基づく市の施策のあり方などについて検討する。 【事業経過】・・・10月21日(金)開催 以後、未定	継続
	協働によるまちづくり先進地視察	【計画】・・・1回実施 まちづくり協議会を設置し、地域でまちづくりの取り組みをされている先進地視察を実施する。先進地視察を希望される各地区の代表(区長)等が対象。 【事業経過】・・・6月27日(月)実施 佐賀市川上校区まちづくり協議会 (佐賀市立川上公民館、参加者30人)	新規
	協働によるまちづくりワークショップ	【計画】・・・4地区開催 概ね小学校区単位を想定した地区で、市民・各種団体を対象に「地区の未来を考えるワークショップ」を開催する。 【事業経過】・・・2地区 ・岩松地区 7月16日(土)開催(参加者34人) ・三里地区 11月6日(日)開催予定	新規
	地域のまちづくりモデル事業	【計画】・・・1地区実施 概ね小学校区単位を想定した地区で、まちづくりワークショップ(座談会)を実施し、まちづくり計画の策定やまちづくり協議会(仮称)立ち上げまでを支援する。 【事業経過】・・・実施地区未定 協働によるまちづくりワークショップを開催後、モデル事業を実施したい地区で実施予定(平成29年1月以降)。	新規

協働によるまちづくり先進地視察

日 時：平成28年6月27日(月) 13:50～15:00

場 所：佐賀市立川上公民館

参加者：地域住民(区長会・振興会・青少年育成会・PTA) 30名

市職員(牛津公民館係長、芦刈公民館係長、企画政策課長、副課長、係長、主査) 6名

計 36 名

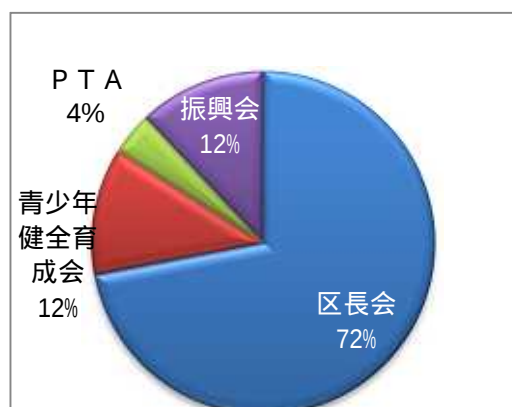
内 容：佐賀市地域コミュニティづくりの取組みについて(佐賀市市民生活部協働推進課)

参加と協働によるまちづくりを目指して【DVD上映】

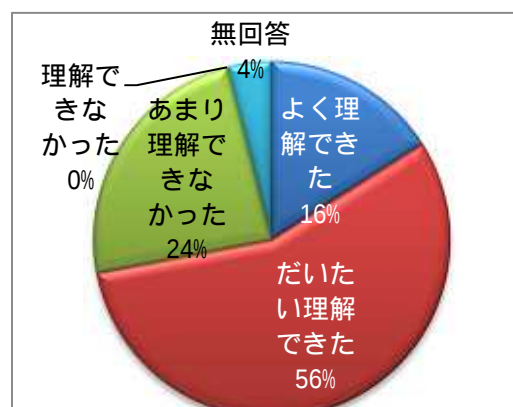
佐賀市川上校区まちづくり協議会の取組み(佐賀市立川上公民館長)

視察参加者アンケート集計結果 (回答者:25名)

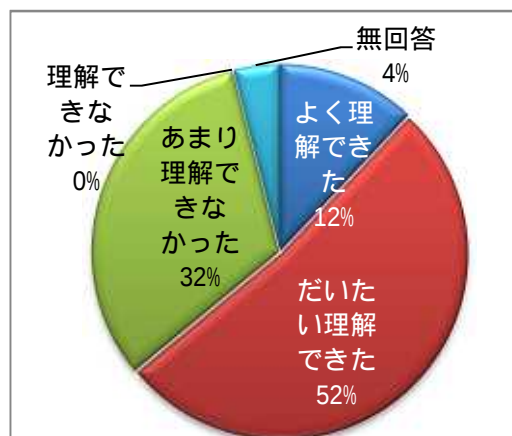
・所属団体



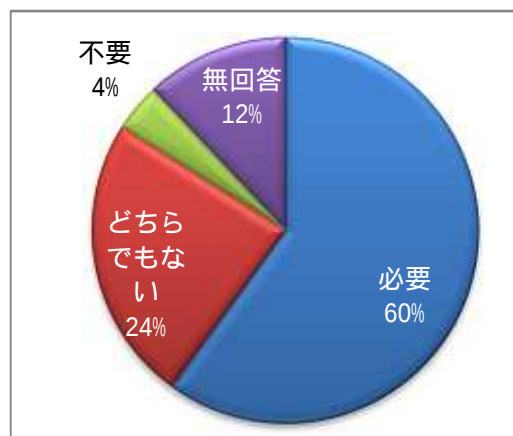
・「まちづくり協議会の組織」の理解度



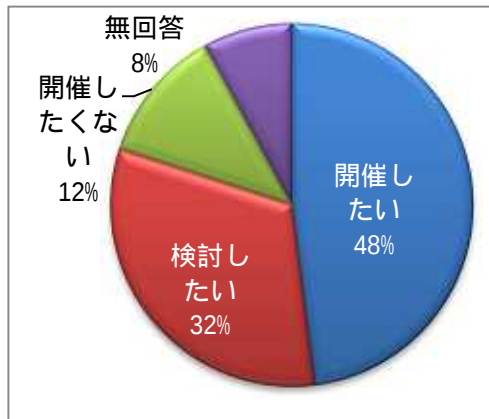
・「まちづくり協議会の取組み」の理解度



・居住地区での「まちづくり協議会」の必要性



・まちづくりワークショップの開催意向



「1.開催したい」・・・

三里校区 4 人、岩松校区 3 人、桜岡 1 人

「2.検討したい」・・・

三里校区 1 人、桜岡校区 1 人、
三日月校区 1 人、芦刈校区 1 人

○ 川上まちづくり協議会の取り組みで印象に残った点 【自由記載】

- ・部会の取り組み、部会員の確保が課題でしたが、話を聞き参考になりました。
- ・「激しい議論」が組織の立ち上げや今日の活動につながっているとお話の部分が印象深い。本音でいっぱい語り尽くして、進めていく重要さを感じたい。
- ・公民館長の熱心さが住民の方々に感動を与えて動き出したのですね。

○ 先進地視察の感想・意見 【自由記載】

(課 題)

- ・覚悟と情熱がないとなかなか難しいのかなと思った。
- ・リーダーづくり(確保)が課題では。特に最初の役員。
- ・ほとんど農業をやっていた人が主で、リーダーを引き受けてくれる人を見い出すのが極めて困難。
- ・役員の選任はどうするのか。住民の理解・協力はどうすれば得られるのか。どんな部会を作るのか。非常に難解です。
- ・同じ活動を行っているようですが。

(感 想)

- ・とても参考になりました。リードする人材の発掘とその人たちの連帯感の構築が先ず必要なことと感じました。自分の校区の課題解決や改善のために、取り組みの準備に着手しなければならないと感じました。
- ・今日、地域の中に在って、様々な課題が山積しているを感じている中、どうすれば課題が解決され、よい方向へ進めることができるのか悩む部分を持っていましたが、そうした自分にとって実際に動いて、組織を作り、活動を通して、課題解決に向けて努力されている姿などのお話は、大変有意義なものだったということです。これからも機会を捉えて「まちづくり」についての研修を深め、自分の住む地域の活性化に取り組んでいきたいと願っております。
- ・地域住民の安全・安心が確保できる環境づくりとは何が必要で、誰が何をなすべきかを、区長等に簡単に投げかけるのではなく、住民の1人1人からの発言等によりボトムアップによって具体的なアクションを型づくっていくことがポイントだろうと思います。
- ・住民アンケートの実施がキーポイントだと感じました。効率よく定期的に実施できる体制を整えることができれば、協議会の活動が面白くなりそうだと感じました。

協働によるまちづくりワークショップ（岩松地区）まとめ

○表 題：岩松の未来を考えよう!!
○日 時：平成28年7月16日（土）19：15～
○場 所：岩松小学校 体育館
○参 加 者：岩松住民 34人、小中学校 14人、託児保育者 2人、ファシリ補佐 6人、総務部・企画政策課 4人 計 60人
※ワークショップ参加者：岩松住民 34人、小中学校職員 14人、託児保育者 2人 計 50人
○ファシリテーター：佐賀大学全学教育機構 教授 五十嵐 勉さん ○ファシリ補佐：NPO法人 佐賀県放課後児童クラブ連絡会 6人
○ワークショップの方法：4～5人をひと班として、12班に分かれワールドカフェ方式で実施。



◎ワークのまとめ

魅力的なところ	伸ばすには？
・人情味がある人が多い ・人が良い ・人情豊か ・ボランティアの気持ちを持っている人が多い ・支える人が多い ・地域を好きな人が多い ・人の心をわかってくれる ・小中学生が朝夕の通学時によく挨拶をしてくれる ・子どもが元気で素直 ・他所から来た人にも優しく接してくれる ・地域を支える人々の存在 ・人が温かい ・若者が大人しい ・公務員が多い	・大人から積極的にあいさつをする ・各種団体 女性部・青年部結成
・人と人とのつながりが濃い気がする ・地域みんなで岩松を大切にすること ・町体へ向けて、岩松地区がまとまること ・協力的・団結力が良い ・岩松地区は団結力がある ・学校と地域 結び付きが強い ・子どもたちのために世話をしてくれる人たちがたくさんいること ・育友会（正会員・準会員 地域とのかかわり） ・イベント（竹灯り、ホタル）に対する地区の協力が良い。 ・区長会のまとまり ・保育園のプール掃除に消防団が協力している	・年始会などの会合も必要
・天山・山間部 （天山に登れる） ・緑と清流 （水がきれい） ・ホタルがたくさん飛ぶ ・鯉 ・清水の滝、不動の滝 ・彼岸花（江里山） ・棚田 ・川をきれいに守ろうとするところ ・水道水がおいしい ・静かな環境 ・空気がきれい ・景色がきれい ・甘露水が美味しい ・涼しい ・写真スポットがたくさん	・自然を残して、行事で盛り上げる ・ホタルがお金になる工夫 ・「水」に関するイベントがあればいい ・自然豊かなイベントを！
・お祇園さん、700年祭で盛り上がってきた ・千葉城址 ・伝統的なお祭りがある（天山神社・祇園さん） ・教育的資源が多い（歴史的） ・歴史ある神社仏閣が多く点在 ・伝統的な祭りイベントが多い ・歴史がある地域 ・江里山観音 ・千葉家の墓	・伝統行事を残すなら地区全体で考えるべき
・住みやすい （生活しやすい） ・住宅地が増えている ・津波がない	
・お酒が美味しい（天山酒蔵） ・ようかん ・直売所「ほたるの郷」のお弁当がおいしい ・美味しい酒が飲める店が多い ・簡易水道がある ・鯉料理 ・大門おこし ・食べ物が美味しい ・竹灯り	・PR必要（当たり前ではない） ・空き家を利活用

困っているところ	改善するには？
・” ワールドカフェ” タイプの人が少ない ・排他的（移り住んだ人々を受け入れにくい） ・目先のことで精一杯 ・コミュニケーション、思い出がない ・犬や猫のしつけが悪い人がある	・マナーを守ってもらう ・若い世代の人達に自然の大切さを伝える ・保存会の人を増やす
・ホタルの保存会、人が少ない ・子どもの数が減少 ・高齢化が進む ・山の手入れや道路の草刈りの人手不足 ・老人会が成立しない	
・公民館・ゴミステーションの掃除は女の仕事 ・男の仕事、女の仕事が決まっている ・地区内の要望等が多数あり対応に苦慮している ・ゴミの処理が自由すぎる ・地域行事が少ない ・リタイアしてからの集い、あまりない ・図書館がない ・支館がボロい ・しがらみがある ・他所から人が入って来ない ・閉鎖的	・民家の活用 ・新しい考えをどう受け入れるか ・交流人口を増やす ・若い人と語り合う
・自然の維持が難しい ・通学路に荒れ地があり、草が伸び放題 ・空き家の対策	
・宿泊施設が少ない ・コンビニが校区内にない ・働く場所が少ない	・空き家を利用 ・施設（宿）を作る
・自然が荒れている ・竹藪、耕作していない土地がある ・山が荒れている ・ヘビ・マムシが多い（畑等の管理が悪い） ・イノシシ ・休耕田が増えている	・定年した人に草刈りなどを呼び掛けていく ・退職後の農業への参入
・部落内の道路でスピードを出し過ぎる人が多い ・車両が多く、道路が狭い ・路上駐車が多い ・交通の便が悪い ・市内循環バスの利用がうまくできない ・危険箇所が多い ・街灯が少なく暗い	・公共乗り物をつくる ・街灯を増やす
・たまに災害が発生する ・大雨は怖い ・がけ崩れ、道路の陥没 ・行政区内に迷惑をかける山林がある ・自然災害が心配 ・採石場の公害が心配	・防災に対する地域差があるので協力対策が薄い
・史跡が目立っていない ・地元の祭りに希望者を入れられない ・祭に参加することは、移ってきた人にはできない ・伝統行事の継続が厳しい	・参加者が少ないと言いつながら広げる努力をしていない ・続けていく人が増える
・財政的に厳しくなり、学校運営に影響 ・託児所・保育所に小さい頃から預けられていない	



◎発表



◎感想

- ・人への呼びかけや協力が必要だと思った。いろいろと勉強になりました。（30歳代・女性）
- ・岩松の人を大切にする根っこをみたような気がします。特に水の素晴らしさを感じ、退職後の生活を地域の力として生かす取り組みに感動しました。もっとアピールすることでもっと活性化したいと思います。（40歳代・女性）
- ・皆、地域愛を感じました。自力を活用して、自然豊かな環境を維持できたら良いと思いました。（40歳代・男性）
- ・岩松地区の魅力・良さを再認識することができ、大変良かったと思います。この場で、出てきたアイデアを行政に訴える。地域で具体的に行動していくことができれば素晴らしいと思います。お世話いただいた方々、ありがとうございました。（50歳代・男性）
- ・この自然をいかに育み、守っていくのか。多くの人々との対話の中で、深く考えることができたと思う。（50歳代・男性）
- ・これからも参加していきたい。（50歳代・男性）
- ・各組織、各年代等でワークショップをやり、岩松校区を良い方向へ導きたい。今後のために!!（50歳代・男性）
- ・自然と人が良い。自然の荒れを直すのは人に呼びかける。歴史が多い→宿泊が少ないので空家を利用。祭が多いが参加者が少ない→新しい住人に呼びかける。（60歳代・女性）
- ・豊かな自然を守ることと、祭りを盛り上げる仕掛けを考えていく必要がある。（60歳代・男性）
- ・自由な意見がでて、有意義でありました。（70歳以上・男性）